2021年度事業報告について

総　括

2021年度は、コロナ禍により引き続き事業活動を制限される中、新型コロナウイルス感染対策を徹底し工夫しながら活動を継続してきた。

昨年中止となった絆フェスタはきょうされん40周年記念映画「星に語りて」の鑑賞を中心に、開催時間や参加者を制限して行った。２年ぶりの開催となり改めて４本柱である当事者、家族、ボランティア、職員の温かさや仲間との心のふれあいを確かめる場となった。

研修はZoomなどオンライン開催が定着し、参加しやすい環境が整いより多くの人が参加することができた。遠方の講師も依頼することができ貴重な学びの場となっている。全職員が関心をもって学び、できる取組をしていくことを目標に、日本の現状をベルギーと比較して学ぶ「精神医療改革」の研修には職員と家族が一緒にZoom参加することができた。

当事者の活動である合唱やスポーツ、毎月の家族役員会、ボランティア中心の絆カフェなど、どの分野においてもコロナ禍の影響はあったが、やり方の工夫と絆の会ならではの協力体制によって活動を停滞させることなく、継続して取り組むことができた。

処遇改善については県の最低賃金引き上げに伴い、10月に一部嘱託職員の賃金改定を行った。その後も処遇について検討を重ね、一般職員の給与表改定と共に全職員の賃金の改善を図った。

＜絆の会５か年中期事業計画　2021年度報告＞

① 一人一人の希望や特性に沿った支援のための事業展開

就労系事業では、新たな事業形態について「信州そば工房きずな」ではＡ型事業への転換の可能性を、「悠友ハウス」は生活介護を含めた他の事業との組み合わせについて検討を続けている。

地域活動支援センター「皆神ハウス」は移転や事業内容について、グループホームは利用者のニーズに沿った職員の配置や支援内容について検討している。

絆の会相談室は相談業務のしやすさや利便性を考え移転を検討していたが、「つむぎの家」が閉鎖したため、その跡地へ移転した。

② 法人運営基盤の強化

法人内の人材育成として、職員の精神保健福祉士国家資格取得のための助成制度を創設。

職員の資質向上のため、相談役等の協力を得て面談や研修等を実施した。

③ 地域との交流及び社会貢献・普及啓発

８月の職員全体会で「災害時の障害者支援」をテーマに研修を行った。

精神保健福祉ボランティア養成講座を４日の日程で行い５名に修了証を交付した。

④ ４本柱への支援・共同

絆カフェは月１回開催し、ボランティアの交流の場、憩いの場として定着してきている。

コロナ禍ではあったが、４本柱が協力して様々な活動に継続して取り組むことができた。

Ⅰ－１　法人本部事業

１　会議等の開催状況

(1) 理事会、評議員会

理事会４回、評議員会１回開催

会議名	日付	審議内容	出席者
第１回 理事会	2021年 ６月３日	審議事項 ・2020年度事業報告（案）について ・2020年度決算報告（案）について ・諸規程の一部改正について ・就労支援事業における設備等整備積立金の積立について ・評議員選任・解任委員会の委員選任について ・新役員の選任候補者提案について ・新評議員候補者の提案について ・福祉サービスに関する苦情処理規程に基づく第三者委員について ・定時評議員会の招集について 報告事項 ・絆の会５か年中期事業計画について ・理事長及び業務執行理事の職務執行状況について	・理事７名中６名出席 ・監事２名出席
定時 評議員会	６月18日	報告事項 ・2020年度事業報告について ・絆の会５か年中期事業計画について 審議事項 ・2020年度決算報告（案）について ・新役員の選任候補者提案について ・理事及び監事の報酬等の額の一部改正について ・福祉サービスに関する苦情処理規程に基づく第三者委員について	・評議員９名全員出席 ・理事５名出席 ・監事２名出席
第２回 理事会	６月18日	報告事項 ・評議員の審査結果について 審議事項 ・理事長の選任について ・副理事長及び常務理事の選任について ・相談役の委嘱（案）について ・理事の職務分担（案）について	・理事８名中７名出席 ・監事２名出席
第３回 理事会	11月18日	報告事項 ・2021年度中間事業報告について	・理事８名中６名出席 ・監事２名中１名出席

会議名	日付	審議内容	出席者
		・理事長及び業務執行理事の職務執行状況について 審議事項 ・2021年度資金収支補正予算（案）について	
第４回 理事会	2022年 ３月17日	報告事項 ・理事長及び業務執行理事の職務執行状況について 審議事項 ・地域活動支援センターつむぎの家の廃止について ・絆の会相談室の移転について ・規程又は規則の制定、一部改正及び廃止について ・2022年度事業計画（案）について ・2022年度資金収支当初予算（案）について ・施設長等の選任及び解任（案）について	・理事８名中６名出席 ・監事２名出席

(2) 監事による内部監査

５月22日　監事による2020年度事業及び決算監査

(3) 事業運営のための諸会議

運営会議（理事長、副理事長、常務理事、各統括管理者、相談役）	５回
経営会議（三役、事務長、所長、主任、事務局職員、相談役）	２回
責任者会（理事長、統括施設長、各統括管理者）	45回
所長会議	10回
所長・主任会	２回
主任会	３回
職員全体会	３回

(4) 苦情解決関係等

７月16日　苦情解決担当者等会議

２　各種委員会・検討会等

(1) 絆の会サポート委員会	２回
(2) 職員処遇改善委員会	６回
(3) ホームページ管理運営委員会	９回
(4) ハートレター絆編集委員会	７回
(5) ボランティア委員会	２回
(6) 当事者会支援	８回
(7) 家族会支援	14回
(8) グループホーム入退所等委員会	７回
(9) 災害・感染症等対策委員会	７回
(10) 絆フェスタ実行委員会	７回

3　寄附金収入について

支援金　2,823,350円（295件）　※前年度　3,383,758円（307件）

4　事業一覧

(1) 社会福祉事業

①　多機能型事業　　１か所

就労移行支援事業

就労定着支援事業

就労継続支援Ｂ型事業

②　就労継続支援Ｂ型事業　　２か所（３事業所）

③　共同生活援助事業　　１か所（４グループホーム）

④　短期入所事業　　１か所

⑤　自立生活援助事業　　１か所

⑥　地域活動支援センター　　２か所

⑦　相談支援事業　　１か所

指定特定相談・指定一般相談

⑧　受託事業

長野市障害者相談支援事業

長野市障害者地域移行支援事業

(2) 収益事業

絆の会松代温泉駐車場事業

5　施設、設備整備等について（主なもの）　（円）

施設名	整備内容	補助事業等	事業費	配分金額
びーんず	コンベクションオーブン	－	770,000	－
	冷蔵対面ショーケース	－	401,500	－
	レジスター	－	162,580	－
リアン若里	冷凍冷蔵庫	－	143,775	－
みらいコーポ稲葉	エコタンク搭載プリンター	－	110,000	－
皆神ハウス	ポータブルクーラー２台 タブレット２台	(福)長野県共同募金会	104,120	100,000

6　職員の採用・退職等の状況

(1) 採用（10名）

正職員２名、嘱託職員８名

(2) 退職（８名）

正職員４名、嘱託職員４名

7　職員の資質向上のための研修

(1) 内部研修・当法人主催研修（計７回）

日付	研修会の名称と内容
５月25日	【新任職員事業所見学】 法人事業所10か所を巡回し、任意団体りんどう会時代から、現在までの施設整備の歴史を、現場を見ながら説明を聞いた。新任職員７名
６月22日	【新任職員研修会Ⅰ　講師：理事長・当法人職員】 １病気と障害について　２絆の会の理念とあゆみ　３当事者・家族・ボランティア・職員からのメッセージ 統合失調症について理解を深め、当会の歴史を知り、４本柱それぞれからのメッセージを聞いて自分も絆の会の一員として実践を重ねたいと入職後の積極的な姿勢を感じさせる研修となった。入職３年未満の職員11名参加。
７月20日	【新任職員研修会Ⅱ　講師：当法人職員】 １精神に障害のある人たちの置かれている状況　２絆の会独自の活動を知る １では精神保健福祉の歴史を学び日本の状況を知り、２では絆フェスタ、サポーター―委員会、スポーツ、合唱、きょうされん加盟と運動など会独自の活動を学んだ。10名参加
８月20日	【職員全体研修　講師：小島健一氏、竹内紳一郎氏】 「災害時の障害者支援～令和元年度台風19号による災害の経験から学ぶ」初めて各事業所を結びZoomによる研修を行う。
８月27日	【新任職員事業所見学】新任職員２名、理事１名、ボランティア２名
９月28日	【新任職員研修Ⅲ　講師：当法人職員】 先輩職員の体験発表「メンバーとのかかわりを通して学んだこと」グループワーク①講義を聞いて②今困っていること。12名参加。
12月10日	【職員全体研修　講師：田頭愛美氏】 メンタルヘルス研修「ストレスと睡眠について」初めて職員自身の健康を対象にした講義で、睡眠のメカニズムからストレス対処法まで学び、後半グループワークで意見交換を行った。フルタイム職員対象。各事業所を結びZoomによる研修。

(2) 利用者支援のためのケース検討会

就労部門と地域生活部門　　各２回　　計４回

参加者：精神科医師、精神科ソーシャルワーカー、職員等

(3) 資格取得のための研修会

サービス管理責任者研修	２名
サービス管理責任者更新研修	２名
相談支援従事者初任者研修	２名
相談支援従事者現任研修	２名
相談支援従事者主任研修	２名
相談支援従事者専門分野研修［地域移行・地域定着］	１名
長野県障がい者支援区分認定調査員研修	２名

(4) 福祉職員生涯研修（長野県社会福祉協議会主催）

新任職員課程	１名
新人育成担当者	１名
中堅職員課程	２名

管理者課程　　１名

(5) 県内外の各種研修会への参加（各事業所の活動報告に記載）

8　研修会等への講師の派遣（計10回）

日付	内容	主催	場所	氏名
６月21日	川中島地区民生児童委員協議会 障害者福祉部会　研修会 「精神障害者について～関わりの中で大切にしたいこと～」	川中島地区民生児童委員協議会	川中島支所	西川洋介
６月24日	長野保健医療大学　精神看護学方法論 「地域精神保健福祉と社会参加　精神障害をもつ人の地域生活支援の実際と精神保健福祉士の役割について」	長野保健医療大学	長野保健医療大学	西川洋介
７月14～９月29日（５回）	相談支援従事者初任者研修演習	長野県相談支援専門員協会	Zoom	川俣伸枝
10月１日	北部地区自立支援協議会研修「地域移行支援について」	北部地区自立支援協議会	信濃町役場	坂口和美
11月９日	障害者職業生活相談員資格認定講習	高齢・障害・求職者雇用支援機構	ホテル信濃路	荒谷麻美子
11月16日	第４回生活支援部会「精神障害の方の支援について～グループホームの実践を通して～」	千曲坂城地域自立支援協議会	千曲市役所戸倉庁舎	横山真紀子
12月７日	「精神保健福祉援助実習」助言	長野大学	長野大学	西川洋介
３月15、18日	学びの拠点サポーター研修 「精神障害のある利用者とのかかわりについて」	NPO法人長野県NPOセンター	Zoom	坂口和美

9　当事者・家族・ボランティア活動への支援

(1) 当事者活動への支援

①　ひまわりの会（当事者会）の支援　　役員会７回（打合せ会議７回）

今年度もコロナ禍の影響を受け、活発な活動はできなかった。役員からは、「交通手段がなく役員会への出席が大変」や「コロナ禍のため公共交通機関を利用しての移動に不安がある」などの声が上がっているため、役員会をオンラインで行うなど工夫していきたい。また、ひまわりの会の目的の一つである“事業所の枠を越えた当事者同士の交流”を実現できるよう、オンラインや小規模なイベントの開催が今後の課題である。

＜活動内容＞

６月18日（金）第８回定期総会を書面決議にて実施

６月15日（火）『ひま会新聞』2021年夏号を発行

②　スポーツ活動（ソフトバレーボール）

スタッフ会議　年12回実施

メンバーミーティング　年３回実施（Zoomを用いたミーティング含む）
毎週水曜日　13：30～16：00　長野市中部勤労青少年ホームにて活動。
悠友ハウス２階にてメンバーミーティング及びZoomにて筋力トレーニング
＊ 第21回全国障害者スポーツ大会　精神障害者バレーボール競技　北信越・東海地区ブロック予選会
2021年６月12日(土)、13日（日）　三重県とこわか
（新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止）
＊ 令和３年度北信地区スポーツ交流会（ソフトバレーボール大会）
2021年６月25日（金）　長野運動公園総合体育館
（新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止）
＊ 令和３年度長野県障がい者スポーツ大会（ソフトバレーボール大会）
2021年９月12日（日）　開会式：松本平広域公園陸上競技場、競技会場：朝日村農業者トレーニングセンター体育館
（新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止）

③ 絆の会合唱団の活動
練習　年10回
練習会場：法人本部
イベント：ピアノミニコンサート　６/23(火)　会場：法人本部　参加者35名
春が来たミニコンサート　３/23(火)　会場：法人本部　参加者23名

(2) 家族会への支援（事業報告は別紙）
① 会合や研修会の出欠席の取りまとめと名簿作成
② 家族会費の徴収
③ 役員会（月１回）への出席
運営については相談や調整役に徹し、ご家族の主体的な活動を大事にしている。

(3) ボランティアの活動状況（ボランティア登録人数　60名　実延人数　72名）
① 各事業所ボランティア（各事業報告に記載）
② 精神保健福祉ボランティア養成講座
日　程：2022年１月27日、２月１日、２月３日、３月８日
場　所：法人本部多目的スペース(Zoomを活用しオンラインでも参加可とした)
参加者：34名（部分参加者含む）
内　容：精神保健福祉の制度や障害について学び、病気の理解、関わり方、障害当事者、家族、ボランティア、職員の体験発表を聞く
講　師：川中島Ｆメンタルクリニック　福家知則氏、当法人職員他
ボランティア体験実習：２月21日から３日５日の間の２日間、希望日に合わせて絆の会各事業所で行った。
３月８日、修了証書を５名に授与（うち２名がボランティア活動を開始）
③ ボランティア委員会の活動（委員会　６月、９月　全２回）
ボランティアだより発行(５月、10月)
ボランティア交流会（2021年11月18日　参加者20名）
内容：「長野市の元気な街づくり市政出前講座」を活用し管理栄養士によるフレイル

予防の講座及び中澤信悠友ハウス所長のお話
絆カフェの開催（７月、10月、12月）
精神保健福祉ボランティア養成講座への協力・ボランティア体験発表
絆の会ボランティア名簿の整理

10　広報・普及活動
(1) 第11回絆フェスタ　　2021年11月５日（金）13時40分～16時30分
(2)「ハートレター絆」の発行　　５回（第110～114号）各500部発行
若里地区内の回覧、南市、北市、若里中央、上千田、荒木、若里西町
(3) ホームページによる発信
日常の様子や研修情報など、ブログ・インフォメーション等随時更新
９月よりモバイルファースト（スマートフォンで見やすいデザイン）への移行

11　障害者の地域生活向上に向けた取組
(1) 長野市障害ふくしネットへの参加
(2) きょうされん、せいしれん等他団体との連携、協同
(3) ＮＰＯ法人ポプラの会との連携（運営会議・スタッフ会等への定例的出席）
(4) 障害者福祉推進のための活動への参加（署名活動や全国集会への参加）

12　苦情内容及び結果

申出人	件数	内容	結果
利用者	1	利用している地域活動支援センターの職員の言葉に傷ついた。	申出人の希望で、第三者委員（統括施設長同席）に話を聞いてもらい、後日地域活動支援センター職員と第三者委員、統括施設長と「そのつもりでなくても傷つくことがある」ことを伝えて面談を行った。

13　その他
増田修史職員、野澤範子ボランティアの２名が、精神保健福祉への顕著な功績が認められ、２月24日に長野県精神保健福祉協議会による精神保健福祉功労者表彰を受賞された。

Ⅰ－２　事務局関連活動

1　ボランティア　８名（ホームページ・ハートレター・サポート委員会）
2　研修参加

日付	研修名	会場等	人数
７月13日	令和３年度精神保健福祉担当者基礎研修	YouTube	2
７月29日	令和３年度苦情対応実践講座	Zoom	2
11月６日	JD憲法と障害者2021	Zoom	2
10月25日～12月５日	社会福祉法人　会計実務研修	動画配信	1
10月25日～11月12日	苦情対応システム研修会	動画配信	1
12月15日	医療・福祉現場の身元保証人問題を考えるセミナー	Zoom	1
３月10日	令和３年度長野県経営協セミナー	Zoom	1

Ⅱ－１　2021年度　多機能事業所（就労移行支援・就労定着支援・就労継続支援Ｂ型）事業報告

１　悠友ハウス就労支援センター（就労移行支援）　　定員６人
長野市若里三丁目14番23号　　TEL：026-219-5131、FAX：026-219-4701

(1) 総括（重点目標及び報告、課題）

① 魅力的な生産活動、各種プログラム、余暇の充実
生産活動では企業先での作業を３カ所で実施。社員との挨拶などのマナー習得や社内の緊張感を経験するなど、企業で働く体験の場となっている。ＰＣ学習では資格試験（Microsoft Office Specialist）に１名合格。地域を対象とし、活動の周知を目的に公開講座を計３回実施。関係機関の参加が一定数あった一方で、就職を希望する当事者の参加が限られ、魅力的な内容、開催までの計画に課題を残した。余暇ではボランティアと太極拳を実施し、利用者同士のコミュニケーションが増えた。
【課題】・事業内容の整理（生産活動のシフト調整、ワークサンプルの導入）
・計画的な公開講座の実施
・ボランティアとの交流、卒業生が気軽に立ち寄れる場所づくり

② 実習受け入れ企業の開拓と関係構築
就職者のいる企業に対して、利用者の働くうえでの得意不得意をまとめた紹介シートを作り、それを企業先とともに共有し、利用者の特性に合った職務とのマッチングを行うことで、実習先を確保した。
【課題】・利用者の特性や意向に沿った見学・実習先の開拓

③ 個別支援の充実
利用者一人ひとりと就職までのスケジュールを表にまとめ、面談を通してその都度、課題とこれからやるべきことを共有した。メンバー会では利用者とコロナ禍のなかでできる行事（県立美術館見学）を検討、実施した。
【課題】・個別支援計画に沿った支援の実施

④ 利用者増に向けた取り組み
公開講座での活動周知に加え、当法人Ｂ型・就労移行支援事業所の主任が持ち回りで関係機関に出向き、活動内容をＰＲした。
新規利用者５名（見学22名）、就職者５名。延べ利用者数1,593人(2020年度1,453人)
【課題】・就労支援チームと連携し、当法人Ｂ型事業所からの計画的な移行
・活動周知の手段としてSNSの活用を検討

⑤ 職員の資質向上
外部研修への参加を積極的に促したほか、スタッフ会での所内事例検討会を行い、日々の困りごとを共有した。また支援の振り返りをその都度行い、皆で検討する場を意識的に設けることで支援力の向上を目指した。
【課題】・困りごとを日々のなかで話し合える環境づくり
・外部研修への積極的な参加

(2) 就職者状況
就職者：５名

就職先：カイシンエレクトロニクス㈱、㈱ツルヤ、（福）博悠会・フランセーズ悠、長野ベリーファーム㈱、ホテル信濃路

(3) ボランティア支援状況

生産活動（大日本法令印刷）３名、余暇（太極拳）７名

2　悠友ハウス就労支援センター（就労定着支援）　　定員20人

長野市若里三丁目14番23号　　TEL：026-219-5131、FAX：026-219-4701

(1) 総括（重点目標及び報告、課題）

① 関係機関との連携及び利用者増

体調が安定しない利用者には職場訪問や勤務調整を行った。また暮らす場がグループホームの利用者には、その都度世話人と情報共有し、継続して働き続けられるよう支援した。一方で支援期間中や終了後、体調不良から長期欠勤となり離職に至ったケースも数名あった。

【課題】・サービス開始時から終了を見据えた関係機関への引継ぎのタイミングやその人にあった相談の場、居場所づくり

・長期欠勤者が職場復帰するための支援の検討・実施

② 利用者の就職先企業との関係構築

限られた支援回数のなかで、企業先の担当者と信頼関係を築くことで、休みや体調不良が続く利用者の情報を迅速に把握し、適切な支援につなげた。

【課題】・企業の困りごとに対する迅速な対応

③ 継続して利用できる就職者の憩いの場づくり

就職者に対してボランティアの活動がある機会に気軽に立ち寄れるよう声かけをして促した。結果、一部の就職者が絆カフェに参加し、就職者同士で近況報告する場面が見られた。

【課題】・ボランティア、就職者、利用者の交流の場所づくり

(2) 利用者状況（就業開始順）

人数：15名（男性11名、女性４名）

勤続年数：１年未満　２名、１年以上～２年未満　２名、２年以上～３年未満　４名、３年以上　２名

就職先：㈱渋谷文泉閣、直富商事㈱、㈱デリシア、ホリデイスポーツクラブ長野、㈱セリア、㈲新潟屋、㈱ツルヤ、（福）長野市社会事業協会・尚和寮、（福）博悠会・フランセーズ悠、千曲市役所

3　悠友ハウス（就労継続支援Ｂ型）　　定員25人

長野市若里三丁目14番23号　　TEL：026-219-5131、FAX：026-219-4701

(1) 総括（重点目標及び報告、課題）

① 利用者の特性に合わせた事業内容の整理

各事業、多様な利用者の特性に対応するため、作業工程を細分化し、多くの利用者が関

われるように取り組んだ。アウトワーク事業は引き続き専門技術を伴わない作業（公園清掃、キノコの紙巻、一般宅の草取り）に整理して対応した。清掃事業は取引先から求められる作業品質に応えることが課題となっており、事業の在り方について検討してきた。その他、利用者増WGにて生活介護など他事業との組み合わせについて検討した。新規利用者13名（見学23名）延べ利用者数：2021年度5,318名（2020年度4,207名）

【課題】・所内における利用者の特性に合わせた作業の検討と実施

② 工賃アップに向けた取り組み

販売では利用者の「やってみたい」という希望が多く、販路を拡大し、従事者を増やして対応した。また販売促進ＷＧと協力してKizuna Shopのイベントを２回実施し、売上増につながった。その他清掃では作業物件を２件増やして対応した。

【課題】・地域に根差した事業の検討（地域の草取りなど）

③ 個別支援の充実

アウトワークや清掃で使う防護服や手甲を利用者と相談しながら作成した。結果、自分たちのアイデアが形になったことが一部の利用者のモチベーション向上につながった。個別対応が必要な利用者が増えたため、写真で資材の置き場所を示し、作業スペースをパーティションで区切るなど、一人ひとりが落ち着いて作業できる環境を整備した。

【課題】・一人ひとりの特性に合った環境の整備（見える化、パーティションで区切る、休憩場所の確保）

・メンバー会など主体的に活動できる場の提供

④ 就労移行との連携

就職希望者に対して悠友ハウス就労支援センター主催の公開講座への参加やプログラムへの参加を呼びかけ、見学や体験を重ねることでスムーズに就労移行へ移行できるよう支援した。

【課題】・計画的な就労移行への移行

⑤ 職員の資質向上

所内事例検討会に加え、スタッフ会で職員の困りごとは都度話題にし、検討した。

【課題】・日々の困りごとについて職員間でその都度話し合える環境を作る

(2) 作業種目・売上・工賃（単価：円、賞与を含む）

作業種別	時給等	売上額		工賃平均月額	
		2020年度	2021年度	2020年度	2021年度
軽作業	110	679,193	676,976	1,982	1,607
アウトワーク	550	1,671,979	1,990,868	14,315	14,340
清掃	650	1,110,201	1,133,967	8,326	8,666
販売・Kizuna Shop	200	3,682,125	6,349,996	5,096	5,706
印刷	150	1,407,085	1,420,108	1,994	2,091
ポスティング	５円/枚	145,525	24,260	6,076	1,516
全体		8,696,108	11,596,175	9,819	8,513

(3) ボランティア支援状況

軽作業１名

Ⅱ－２　2021年度　就労継続支援Ｂ型事業所　事業報告

１　信州そば工房きずな　　定員20人
長野市柳原659-１　　TEL：026-263-9788、FAX：026-217-5220

(1) 総括（重点目標及び報告、課題）

① 危機管理の徹底と事故の再発防止
機械の安全カバーを固定し危険個所への案内表示を増やして注意喚起を行ったほか、機械のメンテナンスやチェック表による点検の追加、また道具置き場を整理して異物混入の防止を図った。
【課題】製造マニュアルの整備、製造機械の定期メンテナンス

② 利用者の特性に合わせた事業内容の充実
製造では、納品先や製品ごとに誰が見てもわかる表示を行い、仕分けしやすい環境にできたが、１日を通した作業体制は実現できなかった。また、複数の就労継続支援Ａ型事業所の見学をし、給付費等のシミュレーションを行いながら、Ａ型事業の検討を重ねた。
【課題】閑散期の製造作業と安定した軽作業の確保、１日を通した作業体制の実現

③ 工賃アップに向けた取り組み
製造･販売では、新規取引先を複数獲得できた一方でスーパーでの売り上げは伸ばせず、土産物商品もコロナ禍の影響が続いた。施設外作業（援農・きのこ）については、利用者に合わせた作業内容に変更することで取引先が減少した。
【課題】継続的な営業活動、既存商品の見直しと新商品の開発、援農の作業工賃の減少

④ 利用者増と定着
就労系事業所の主任がチームを組んで、関係機関への広報活動に努めた。また、送迎サービスの周知を図ったが、実際にサービスを活用する人は少なかった。
新規利用者６名（見学８名）延べ利用者数2,968人（2020年度2,702人）
【課題】通所の定着へ向けた関りの継続、定期的な送迎サービスの体制

⑤ 個別支援の充実
日頃から声がけや体調確認を行い、定期面談を継続して行った。
【課題】個別の特性に応じた作業環境の充実

⑥ 職員の資質向上
事業所内の事例検討で意見交換をすることで、支援の方向性を共有することができた。
【課題】職員間のコミュニケーションと情報の共有

⑦ 地域との関わりを深める
コロナ禍で自粛をしていた地域の方々に対して、利用者と共に地域を廻って年越しそばの営業を行い、久しぶりの交流を図りながら企業や個人の方から注文を頂くことができた。
【課題】コロナ禍における地域との関り、企業や個人宅への定期的な販売

※　2022年１月11日、信州そば工房きずなにおいて盗難事件が発生。警察による事情聴取、実況見分等行われた。損害額は434,190円で、損害保険加入による受取損害保険金は996,984円である。耐火金庫設置、ドアの補強等、対策を行った。

(2) 作業種目・売上・工賃（単価：円、賞与を含む）

作業種別	時給	売上額		工賃平均月額	
		2020年度	2021年度	2020年度	2021年度
製造・販売	500～700	12,783,675	11,989,061	26,835	19,841
軽作業	150～350		140,065		1,402
農作業	250～500	1,090,020	469,384	9,123	6,098
その他の施設外	500		221,531		3,737
全体		13,873,695	12,820,041	30,521	22,429

(3) ボランティア支援状況

麺製造１名、昼食時の交流１名、援農１名、レクリエーション１名

２　びーんず（主：びーんず）　　定員10人

長野市篠ノ井御幣川1233-１　　TEL：026-214-5446、FAX：026-214-5449

(1) 総括（重点目標及び報告、課題）

① 利用者の特性に合わせた事業内容の見直し

菓子作業、軽作業ともに新しく携わる利用者が居たことで作業方法の見直しや環境整備につながり、見える化を進めることができた。特に、軽作業においては作業マニュアル作成をメンバー会のテーマとして取り上げ、利用者の視点を中心にマニュアル作成に取り組み始めた。

【課題】菓子作業は、利用者のスキルアップ機会の確保が課題である。軽作業（ゼリー詰め）や紙袋作りについては、引き続きマニュアル作成に取り組み、利用者が活躍しやすい環境づくりを進めていく。

② 工賃アップに向けた取り組み

菓子作業においては、店頭ショーケースの新調と同時に設置場所を工夫したことや地域新聞店企画のクーポンの活用、法人外部の卸し先があること、菓子ギフトへの対応などが認知度の向上につながった。外部卸し先からの安定した受注が工賃時給を大幅アップ(200円アップ)につながった。軽作業では、新たな受託作業（㈲カネマツ物産よりポン菓子の袋入れ作業、AKEBONO㈱よりソルガムロースト加工作業）を獲得した一方、依然としてコロナ禍の影響が大きく、対応に苦慮した。

【課題】菓子作業については、ロス削減のために週末の販路確保が課題である。また、お客様のニーズに対応するため、メニュー表の整備や詰め合わせギフトの設定に取り組んでいく。軽作業については、作業確保、収入の安定化が課題である。

③ 利用者増と定着

丁寧な面談を通して作業への復帰に繋がった利用者が数名いた。稲荷山養護学校の実習、見学・体験を積極的に受け入れた。

新規利用者２名（見学８名）述べ利用者数2,336人（2020年度2,145人）

④ 個別支援の充実

利用者本人と利用目的や目標の確認を密に行い、目標に応じて柔軟に対応した。定期的な面談など丁寧な対応を継続し、感染症に不安が強い利用者には在宅支援を提供した。

⑤ 職員の連携と資質の向上

スタッフ会での意見交換では積極的に発言があり、日々の支援のヒントになるよい学びの場になった。オンライン研修など積極的に参加した。
【課題】長引くコロナ禍のなか、利用者同士の交流が希薄になり、関わりが限定されてしまっている。支援に携わる経験が浅い職員や短時間職員の比率が高いため、スキルアップや研修参加の機会の充実、日々の支援への活かし方、さらにその実践の振り返りが課題である。

(2) 作業種目・売上・工賃（単価：円、賞与を含む）

作業種別	時給	売上額		工賃平均月額	
		2020年度	2021年度	2020年度	2021年度
菓子製造(販売)	570、650（300）	6,630,422	6,391,471	12,233	14,673
軽作業	150	490,878	383,663	1,902	1,934
全体		7,121,300	6,775,134	10,455	10,772

3 びーんず（従：あんだんて）　　定員10人
長野市篠ノ井布施高田832　　TEL・FAX：026-213-6122

(1) 総括（重点目標及び報告、課題）

① 利用者の特性に合わせた事業内容の充実
軽食作業では、前年度に作成したコロッケづくりのマニュアルを活用できた。軽食、弁当作業共に日々の作業を通して食材の扱い方などを利用者に伝えた。ワゴン販売では商品のＰＲ方法を利用者と共に考えながら販売した。
【課題】建物の老朽化や広さの面で「過ごしにくい」と意見が挙っている。また、接客や調理を担当できる利用者が限られることなど現状のまま事業の継続は難しい。

② 工賃アップに向けた取り組み
軽食作業は地域のニーズ（福祉推進員、長野俊英高校）に応えることで、安定した作業が確保でき、収入も安定した。弁当作業はKizuna Shop周辺へのチラシ配布の効果により注文数が増加した。週末にグループホーム向けの惣菜製造があることが食材のロス削減に役立った。軽食、弁当作業共に工賃時給50円引き上げを実現できた。
【課題】携わる利用者や厨房の広さが限られるため、一度の製造量増加が困難

③ 利用者増と定着
長期の欠席者については継続した丁寧な対応が復帰に繋がった。稲荷山養護学校の実習、見学・体験を積極的に受け入れた。
新規利用者１名（見学者８名）延べ利用者数2,263人（2020年度2,360人）

④ 個別支援の充実
感染症に不安が強い利用者に対して在宅支援の活用など丁寧に対応した。通所希望日数を増やしたいという要望に対してびーんずと連携することで対応した。

⑤ 職員の連携と資質の向上
スタッフ会で日々の支援での戸惑いや疑問に焦点を当てて意見交換を行った。
【課題】時間帯をずらした通所に対応できる作業内容等の整備。スキルアップや研修参加の機会の充実、日々の支援への活かし方、さらにその実践の振り返りが課題。

⑥ 衛生管理の徹底

軽食店舗は感染症対策を徹底し、“信州の安心なお店”登録をした。生野菜の消毒を徹底するため、電解水生成装置を設置した。管理栄養士を中心にHACCPの考え方を取り入れた衛生管理に対応する記録様式の整備を行い、日々学習の機会を設けながら記録の実践に取り組んでいる。

【課題】感染症対策、衛生管理は今後も継続した取り組みが必要。

(2) 作業種目・売上・工賃（単価：円、賞与を含む）

作業種別	時給	売上額		工賃平均月額	
		2020年度	2021年度	2020年度	2021年度
軽食（販売）	420・450（300）	4,353,429	4,882,056	11,805	13,542
弁当	450	3,579,510	3,991,655	8,720	9,686
施設外	400	670,617	992,447	7,118	10,859
ワゴンカフェ	500～700	399,627	435,027	14,952	15,646
全体		9,003,183	10,301,185	13,482	14,814

(3) ボランティア支援状況

調理１名、施設外（法令印刷）２名、野菜等提供２名

Ⅱ－３　2021年度　多機能事業所・就労継続支援Ｂ型　その他事業報告

1　利用者の状況・構成　（人）

		悠友ハウス（就労移行）			悠友ハウス（就労定着）			悠友ハウス（Ｂ型）			信州そば工房きずな			びーんずあんだんて		
		男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計
登録者（内アセスメント中）		3	4	7	7	3	10	38	9	47	14	4	18	12	24	36
年齢層	10代							1		1	1		1			
	20代		3	3				8		8	1		1		5	5
	30代				2	1	3	4	4	8	2	1	3	1	5	6
	40代	3	1	4		1	1	11	3	14	1	2	3	7	4	11
	50代				5		5	10	2	12	6	1	7	1	4	5
	60代					1	1	2		2	1		1	2	6	8
	70代							2		2	2		2	1		1
平均年齢（歳）		49	33	40	49	47	48	44	41	42	49	43	46	50	46	47
手帳保持	精神保健福祉手帳	3	4	7	7	3	10	33	6	39	11	2	13	11	16	27
	その他（療育手帳等）				1		1	5	3	8	2	2	4	1	6	7
障害者年金受給者		3	1	4	7	3	10	34	6	40	10	4	14	11	19	30
生活保護受給者			2	2				3	1	4	4		4	2	2	4
生活の場	家族（両親）と同居	2	1	3	3	1	4	23	6	29	5	1	6	6	11	17
	家族（その他）と同居				1	1	2		1	1	3	1	4	2	4	6
	グループホーム				1		1	7	1	8	3		3	1	3	4
	一人暮らし	1	3	4	2	1	3	8	1	9	3	2	5	3	5	8
	入院中														1	1
入所者		1	4	5				8	5	13	5		5	1	2	3
退所者		2	5	7	2		2	2	2	4	4	1	5	2	1	3
退所先	就職	2	3	5				1	2	3	1		1			
	他施設利用		2	2				1		1	2	1	3	2	1	3
	その他				2		2				1		1			
就労アセスメント		9	8	17												
アセスメント後の通所先	悠友ハウス就労支援センター	1	4	5												
	法人内Ｂ型事業所	6	2	8												
	他法人事業所	2	1	3												
	その他		1	1												

2　職員の有資格者　（人）

	悠友ハウス（就労移行）	悠友ハウス（Ｂ型）	信州そば工房きずな	びーんず・あんだんて
精神保健福祉士	1	2	2	1
社会福祉士	1	1	2	
作業療法士				1
調理師				2
管理栄養士				1

３　会議の開催日数

Ｂ型会議：Ｂ移会議（年６回）、拡大会議（年６回）、事例検討会（年３回）、研修報告（年１回）、利用者増ＷＧ（年14回）、就労支援ＷＧ（年９回）、販売促進ＷＧ（年11回）

スタッフ会：年12回

４　実習・視察研修受け入れ（実習人数14人、視察研修人数26人）　（人）

日付	実習内容	悠友ハウス（就労移行）	悠友ハウス（B型）	信州そば工房きずな	びーんず・あんだんて
６月３日～ ７月２日	稲荷山養護学校　前期実習				3
６月５日～ ６月15日 ６月21日～ ６月25日	長野養護学校　現場実習		1	1	
６月28日～ ７月９日 12月６日～ 12月10日	信州大学教育学部附属特別支援学校現場実習		1		
９月６日～ ９月29日	精神保健福祉援助実習		1		
10月13日～ 11月10日	稲荷山養護学校　後期実習				5
11月９日～ 11月12日	長野養護学校　現場実習			1	
２月14日～ ３月４日	長野大学　精神保健福祉援助実習			1	

日付	視察内容	悠友ハウス（就労支援）	悠友ハウス（B型）	信州そば工房きずな	びーんず・あんだんて
７月19日	稲荷山養護学校				1
７月28日 ８月５日	長野養護学校保護者見学	7	7		
12月13日	稲荷山養護学校保護者見学	4	4		
12月22日	稲荷山養護学校				3

５　当事者研修参加報告（参加総数　12人）　（人）

日付	研修名	会場	悠友（移行）	悠友（B型）	信州そば工房きずな	びーんず あんだんて
10月29日	きょうされん全国大会	法人本部３階		7		
１月13日 １月14日	きょうされん利用者学習交流会	法人本部３階		5		

6　職員研修参加報告（参加総数　36人）　（人）

日付	研修名	会場	悠友(移行)	悠友(B型)	信州そば工房きずな	びーんずあんだんて
５月24日	令和３年度障がい福祉サービス従事者新任研修	オンライン		2		
６月22日	第２回地域づくり・ボランティア講座	長野市ふれあい福祉センター	1			
７月13日	令和３年度精神保健福祉担当者基礎研修	動画視聴		2		1
７月20日	第１回長野市虐待防止・権利擁護研修会	オンライン		1	1	
７月29日	令和３年度苦情対応実践講座	オンライン	1			
８月６日 ９月３、６、７日	令和３年度長野県障がい者サービス管理責任者基礎研修	オンライン	1			
10月12、13日	福祉職員生涯研修（管理者課程）	オンライン			1	
10月29日	きょうされん第44回全国大会オンライン	オンライン			1	
11月15、16日	福祉職員生涯研修（中堅職員課程）	オンライン	1	1	1	
11月18日	ピアサポーター養成講座 藤井克徳専務理事講演	トイーゴ生涯学習センター				1
11月30日 ２月15日	共同創造の精神医療改革 ベルギーのプロセスに学ぶ	オンライン	3	4	3	3
12月２日 １月18日 ２月24日 ３月16日	令和３年度相談支援専門員現任者研修	オンライン				1
12月３日	第２回障害者虐待防止・権利擁護研修会	長野市東部文化ホー		1		
12月３、６日	サービス管理責任者（更新研修）	オンライン		1		
12月14～17日	訪問型職場適応援助者養成研修	障害者職業総合センター	1			
12月17～19日	就労支援フォーラムNIPPON2021	オンライン	1	1	1	1
12月18日	誰もが安心して暮らすことができる地域作り～震災直後の南相馬の取組みから学ぶ～	オンライン			1	
１月17～20日	訪問型職場適応援助者養成研修（実技研修）	長野障害者職業センター、企業２社	1			
２月３日	令和３年度福祉就労強化事業工賃向上計画セミナー（Ⅲ）	オンライン			1	
２月10日	令和３年度第３回障害者虐待防止・権利擁護研修会	オンライン			1	

Ⅲ　2021年度　共同生活援助　事業報告

1　総括

2021年度は、介護施設への移行や一人暮らしを始めた人、絆の会グループホーム内で転居した人等各グループホームとも変化の大きい一年だった。課題となっていた服薬管理では、薬ポケットを見える場所に置くことで週末、祝日の巡回職員も確認や声かけを行うことができた。

昨年度より取り入れた毎朝のオンラインミーティングも定着し、離れたグループホーム間での情報共有は行えるようになったが、短時間のため、支援の内容まで検討できず課題が残った。

リアン若里が老朽化し住居として適さなくなったため、新たなグループホームを開設することと併せて、職員の配置や役割について「グループホームあり方検討会」で検討してきた。

利用者の高齢化に伴い、みらいコーポ稲葉の入居者（今までは原則65歳以上）についても検討し、高齢に限らず地域移行での生活訓練を必要としている人や、精神障害の症状から24時間支援が必要な人も入居対象としていくこととなった。

2　各グループホームの職員体制及び有資格者

セルフィー平林　　世話人１（夜間は携帯対応）
リアン若里　　世話人１（夜間は携帯対応）
クレール篠ノ井　　世話人１（夜間は携帯対応）
みらいコーポ稲葉　早番１・日勤２・宿直１（24時間体制）
精神保健福祉士　　３名
看護師　　２名

3　入退所

入所　６人、退所　６人

4　会議等

グループホーム会議　　年12回
みらいコーポ稲葉スタッフ会　年６回（４月、６月、８月、10月、12月、２月）
事例検討会　　年４回（７月、９月、11月、１月）
研修会参加　　随時
短時間職員勉強会　　年６回（５月、７月、９月、11月、１月、３月）

5　職員・利用者が参加した研修

日時	研修名	人数
５月12日	入所施設における新型コロナウイルス感染症予防対策研修会	1
８月６日	令和３年度長野県障がい者サービス管理責任者基礎研修	1
10月14日、11月17日	新人育成担当者研修	1
10月21日	管理者向け障害者虐待防止・権利擁護研修	1
10月28日	第17回日本グループホーム学会オンライン全国大会	3
11月30日、２月15日	ベルギーの精神保健改革　施設から地域へ	4
12月15日	医療福祉現場の身元保証人問題を考えるセミナー	4

12月17日	きょうされんGH学習交流会	1
１月27日	精神疾患の理解と関わり方の実際（Ｆメンタルクリニック院長）	10
２月10日	ふくしネットかつどう部会（ひきこもり支援について）	2
３月24日	みんなねっと北信越ブロック家族会	3

6　グループホームの状況

(1) セルフィー平林（定員６人、男４女１）長野市平林１丁目16-21

① 総括

７月に一人暮らしへの移行で１名が退居し、１月に１名が入居、２月に外部のグループホームへ転居のため１名が退居した。

一人暮らしに近い環境の中で安心した生活を送るため、個人個人の目標に向けて支援してきた。新型コロナウイルス感染拡大防止のため共有ルームでの食事ができず、コミュニケーションをとることが難しかったが､メンバー会では皆が意見を出しやすいテーマを決めて｢病気について」「服薬について」「リカバーについて」等分かち合ってきた。

② 状況

利用者の年齢	40代　１人、50代　１人 60代　２人、70代　１人 平均59.8歳	障害支援区分	区分２：１人 区分３：３人 区分４：１人
経済状況	障害年金基礎　３人 障害年金厚生　１人 生活保護　　１人	日中活動状況	生活介護　　１人 就労継続支援Ｂ型　２人 デイサービス　　１人
入退所状況	入所１人（他GHより） 退所２人（アパート、外部GH）	ホーム内活動	行事：クリスマス会・誕生会 その他：ﾒﾝﾊﾞｰ会(月1)防災訓練（3回）
ボランティア	部屋の片付け（１人） 夕食事作り　（１人）	実習生受け入れ	

(2) リアン若里　（定員７人、男６女１）長野市若里４－５-28

① 総括

１名が一人暮らしを開始、法人内のグループホームへ３名が転居した。７月、11月、３月に１名ずつの新しい入居者を迎えた。コロナ過で食事中の会話を制限しており、コミュニケーションを取ることが難しくなった。体調を崩した３名が入院生活を送った（１～３か月）。建物の老朽化に伴い今後閉鎖していく方向となり､今後一人暮らしを目指している２名には、アパート物件の情報を提供しアパート暮らしに向けた準備（必要なもの、不要な物の処分など）を一緒に考えている。相談支援専門員、家族と連携をとりながら進めている。

② 状況

利用者の年齢	30代　１人、50代　３人 70代　１人、平均54.3歳	障害支援区分	区分２：５人
経済状況	障害年金基礎　４人 障害年金厚生　１人	日中活動状況	一般就労　　１人 就労継続支援Ｂ型　２人
入退所状況	入所３人（自宅、アパート） 退所５人（一人暮らし、他GH）	ホーム内活動	行事：誕生日会、クリスマス会 その他：ﾒﾝﾊﾞｰ会（月1）防災訓練（3回）

(3) クレール篠ノ井（定員５人、男３女２）長野市篠ノ井布施高田1032-８

① 総括

早番職員の配置により利用者が安心して通所先に通えるようになった。一方高齢化により、グループホームでの生活が困難になってきている利用者は、介護施設見学など次の方向について検討を始めた。コロナ過にあっても警戒レベルが下がった秋（11月）には野沢温泉への日帰り旅行ができ、貴重な余暇活動となった。

コロナ感染のあった事業所へ通所していた利用者へは、他の利用者と距離を置くなどの対策を行った。

② 状況

利用者の年齢	40代　２人、50代　１人 60代　１人、70代　１人 平均55.4歳	障害支援区分	区分２：３人 区分３：１人 区分４：１人
経済状況	障害年金基礎　４人 障害年金厚生　１人	日中活動状況	就労継続支援Ｂ型　４人 デイケア　２人
入退所状況		ホーム内活動	行事：クレール単独旅行、誕生会、クリスマス会、新年会 その他：ﾒﾝﾊﾞｰ会（月1）防災訓練（3回）

(4) みらいコーポ稲葉（定員７人、男３女４）長野市稲葉689

① 総括

利用者の高齢化に伴う内科的疾患や身体機能の低下などから介護施設等の見学や検討を重ねてきた利用者２名が移行し、新たに40代、50代の２名が入居した。去年に引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止から外出を伴うレクリエーションは行えなかったが、限られた環境、時間の中でボランティアの活動を活かし歌、手作業、おやつ作りなどの楽しみもあった。要望を受けて開催した短時間職員の勉強会は回を重ねるごとに内容も深まり、支援の向上につながった。

② 状況

利用者の年齢	40代　１人、50代　１人 70代　５人 平均65.8歳	障害支援区分	区分２：２人 区分３：２人 区分４：２人 区分５：１人
経済状況	障害年金基礎　７人 障害年金厚生　２人 企業年金　１人 生活保護　１人	日中活動状況	就労継続支援Ｂ型　４人 デイサービス　３人
入退所状況	入所２人（他GH） 退所２人（病院内の介護療養施設、介護施設）	ホーム内活動	行事：誕生日会、買い物 その他：メンバー会（月１）お茶お点前、歌（月１）、手作業、防災訓練（３回）
ボランティア	お茶、ピアノ演奏、歌、造形	実習生受け入れ	

Ⅳ　2021年度　短期入所　事業報告

みらいコーポ゜稲葉（１床）長野市稲葉689

１　総括

新型コロナ感染が拡大する中、感染予防対策を徹底したうえで受け入れを行い、利用目的等を職員間で共有し、安心して利用できるよう務めた。また自立を目指す人には洗濯、掃除、ベッドメイクなどを一緒に行い、休養として利用する人には静かな環境でゆっくりし、相談もできる環境を作り、利用目的に沿った支援を提供してきた。

定期的に短期入所を活用してきた利用者が入院、グループホームへ入居したため、延べ利用日数は減少した。

２　状況

月	2020年度実績		2021年度実績	
	利用者数	日数	利用者数	日数
４月	3	13	9	39
５月	7	38	9	35
６月	7	43	10	34
７月	8	41	7	25
８月	9	38	7	22
９月	10	39	5	17
10月	8	42	11	33
11月	11	39	7	19
12月	11	45	8	21
１月	9	42	6	23
２月	9	33	6	24
３月	10	46	6	24
合計	102	457	91	316
平均	8.5	38.1	7.6	26.3

Ⅴ　2021年度　地域活動支援センター　事業報告

1　地域活動支援センターⅢ型Ｓ　皆神ハウス　　定員20人
長野市皆神台157　　TEL：026-278-7466　FAX：026-285-0579

(1) 総括

2021年度　登録者123人（2020年度125人）新規登録者７人（2020年度12人）

昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染拡大の影響により利用人数は減少傾向となったが、電話相談などの個別相談の件数は多く、利用者の相談へのニーズには対応することができた。

創作活動においては新たに地域の方を講師にお招きした水彩画のプログラムを取り入れたところ、利用者から好評で定期的な開催につながった。昨年度に引き続き利用者の作品展示と特技発表の場として第２回皆神祭を開催した。創作等の意欲の向上につながり、ギャラリー展示も定期的に開催することができた。

家族茶話会は、コロナの影響により毎月開催とはいかなかったが、毎回10名を超える家族の参加があり、コロナ禍であっても家族同士がつながれる貴重な場となった。地域住民と一緒に活動をする機会は少なかったが、近くの集会所を借り、サックス奏者を招いたミニコンサートの開催や障害者週間に合わせて地域のお茶の間サロンの内容を一緒に考えることができた。

一方で利便性や建物の老朽化等の課題もあるため、「地域活動支援センターのあり方検討会」、「皆神ハウス事業展開検討会」を開催し、長野市の動向も踏まえ、利便性の良い場所への移転や他事業との併設の可能性も検討している。

(2) 利用者の状況

① 年齢

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	その他	合計
男性	7	8	17	20	10	3	1	66
女性	5	10	13	12	7	2	8	57
合計	12	18	30	32	17	5	9	123

② 保健福祉

	精神障害者保健福祉手帳	療育手帳	身体障害者手帳	障害年金	生活保護
男性	42	10	0	49	2
女性	37	3	1	36	1
合計	79	13	1	85	3

③ 生活の状況

	家族と同居	グループホーム	一人暮らし	入院中
男性	48	4	13	0
女性	47	1	7	2
合計	95	5	20	2

④ 在宅地域・活動場所

	長野市	千曲市	上田市	須坂市	坂城町	一般就労	A型･B型･移行
男性	56	8	1	0	1	17	14
女性	48	6	1	1	0	10	10
合計	104	14	2	1	1	27	24

(3) 職員配置

所長：１人（常勤・兼務)、支援員：３人（常勤・専従１人　非常勤・専従２人）

(4) 利用実績(延べ数)

開所日数	239日	家族来所者	220人	来所相談	2,059件
利用登録者数	123人	見学者	20人	電話相談	3,406件
利用者数	3,627人	実習生受け入れ	３人	訪問	９件
関係機関来所者	147人	ボランティア参加	88人	同行	３件
				メール	９件

(5) 事業内容

① 創作的活動及び講座等プログラム活動

手しごとカフェ（６回)、コラージュ（11回)、新さんの料理教室（６回）

作って食べようお昼ごはん（５回)、手芸を楽しもう（14回)、水彩画（３回）

皆神映画館（６回)、音読会（11回）

② 生産活動

喫茶コーナー従事（４回）　　喫茶準備水汲み（２回）

③ 普及啓発

リーフ通信（12回発行）

④ ボランティア活動

コラージュ、書道、皆神祭、創作活動、防災訓練等の行事にボランティアの協力あり

(6) 障害当事者・家族体験発表

日付	発表内容	主催	人数
６月24日	長野保健医療大学　精神看護学方法論	長野保健医療大学	1
12月７日	皆神台区お茶の間サロン	皆神台いきいきクラブ	2
２月14日	家族からのお話（実習生に向けて）	皆神ハウス	2

(7) 当事者育成事業

メンバー会・ひまわりの会・ピアカウンセリング・家族会・音読会など

(8) 職員が参加した研修・講座等

日付	研修名	主催	会場	人数
４月27日	長野県障害支援区分認定調査員研修会	長野県健康福祉課障がい者支援課	長野合同庁舎別館大会議室	1
７月14日～	令和３年度長野県障がい者	長野県相談支援専門員	オンライン月ハ	1

日付	研修名	主催	会場	人数
９月29日	相談支援従事者初任者研修	協会	ーモニー桃の郷	
７月17日	松代地区福祉関係者研修会	松代地区民生児童委員協議会	サンホール松代	1
７月20日	第１回長野市虐待防止・権利擁護研修会	長野市障害福祉課	オンライン	2
10月15日	絆の会家族会定例会「CRAFTを応用した家族支援」	絆の会家族会	オンライン	4
11月30日 ２月15日	共同創造の精神医療改革	きょうされん	オンライン	1
11月９日	令和３年度苦情対応システム研修会	長野県社会福祉協議会	オンライン	1
12月２日～ ３月16日	令和３年度長野県障がい者相談支援従事者現任研修	長野県相談支援専門員協会	オンライン	1
12月３日 12月13日	令和３年度長野県サービス管理責任者・児童発達管理責任者更新研修	長野県相談支援専門員協会	オンライン	1
２月14日	長野市相談支援専門員等スキルアップ研修	長野市障害者相談支援センター	オンライン	2

(9) 普及啓発に関する事業

リーフ通信の発行　　毎月１回（12回）
皆神台地区のお茶の間サロンの共催　　１回
ギャラリー展示　　４回
ギャラリートーク　　２回
第４回松代町かかしコンクール参加　　１回

(10) 研修生・実習生受け入れ

長野大学（１人）
精神保健福祉ボランティア養成講座受講生受け入れ（２人）

(11) 視察・見学

松代地区民生児童委員協議会（障害者福祉部会）視察（11人）
松代地区日赤奉仕団視察（６人）

２　地域活動支援センターⅢ型Ｂ　つむぎの家　　定員10人
長野市稲葉15-７　　TEL月FAX：026-266-0099

(1) 総括

2021年度　登録者58人（2020年度82人）　新規利用者は１人(2020年度16人)
2021年度は、新型コロナウイルスの感染状況が登録者数や利用者数にも大きく影響し利用

者が少ない日が続いた。プログラムは、感染予防のためプランターでの野菜作りや散策・散歩、マレットゴルフといった屋外で密になりにくいものを多く実施した。特に障害者手帳を提示することで乗車券が割引になる「しなの鉄道」を利用した別所温泉への小旅行は、利用者の思い出に残る行事となった。

５か年中期事業計画策定に併せて法人内で２年にわたり「地域活動支援センターのあり方」について検討を重ねてきた結果、長野市全体で利用できるサービスや地域活動支援センターが増えたことなどの現状から役割を終え、つむぎの家を2021年度末で閉館することとなった。閉館後の相談先や日中の居場所については、利用者とも面談を重ね、利用者の希望を確認しながら同じ法人内の皆神ハウスへの登録の促しや近くの地域活動支援センターの見学を重ね、つむぎの家閉館後の不安の軽減に努めた。

(2) 利用者の状況

① 年齢

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	合計
男性	0	4	2	9	10	5	3	33
女性	1	1	5	9	7	0	2	25
合計	1	5	7	18	17	5	5	58

② 保健福祉

	精神障害者保健福祉手帳	療育手帳	身体障害者手帳	障害年金	生活保護
男性	30	2	1	32	1
女性	24	1	0	23	0
合計	54	3	1	55	1

③ 生活の状況

	家族と同居	グループホーム	一人暮らし	入院中
男性	23	4	6	0
女性	21	2	1	0
合計	44	6	7	0

(3) 職員配置

所長：１人（常勤・兼務）、支援員：３人（常勤・専従１人　常勤・兼務２人）

(4) 利用者実績（延べ数）

開所日数	236日	訪問	０件
利用登録者数	58人	同行	８件
利用者数	1,443人	見学者	７人
来所相談	266件	ボランティア参加	45人
電話相談	589件	行事参加	809人

(5) 事業内容

① 憩い・交流活動　　1,443人

プログラム内容：メンバー会・ピアカウンセリング・ティータイム・将棋・脳トレゲーム
マレットゴルフ・公園でスポーツ・地域散策・日帰り小旅行など

② 創作的活動

編み物・手芸・３Ｄアート小物づくり・壁面装飾

③ 社会との交流促進

合唱・スポーツ・美術館見学・日帰り小旅行など

④ その他

消防・防災訓練（防災学習会）

(6) 普及啓発に関する事業

つむぎニュースの発行　　月１回（12回）

地域の方も参加できるイベントの開催　　１回

(7) 見学・視察・実習受け入れ

実習生受け入れ（１人）　長野大学

(8) ボランティアの活動状況

創作活動（３Ｄアート、絵手紙、編み物・手芸など）への参加

行事参加・補助

絆カフェへの参加

(9) 職員が参加した研修・講座等

日付	研修名	主催	会場	人数
８月６日 ９月３、６、７日	令和３年度長野県障がい者サービス管理責任者基礎研修	長野県相談支援専門員協会	オンライン	1

Ⅵ―１　2021年度　相談支援事業　事業報告

絆の会相談室　　長野市松代町松代149
（職員：長野市委託相談員１人、相談支援専門員３人(うち市地域移行支援専門員１人)）

１　総括

2021年度は、５か年中期事業計画を踏まえ、相談支援専門員、地域移行支援員、主任相談支援専門員等が研修に参加し職員の支援技術向上に努めた。相談支援専門員（兼務）を増員し、業務が引きついでいかれるように体制を整えた。自立生活援助事業を開始し、精神科病院を退院した人等の地域生活を支援した。

相談室の移転について、利便性、経営面等から検討を重ねてきたが、「つむぎの家」が閉館することとなり、その跡地へ移転することとなった。

２　計画相談支援・地域相談支援事業

計画相談支援は利用者の夢や希望に寄り添える支援を行う体制を整えるため、相談支援専門員を増員し、また、相談支援専門員の育成を図った。しかし、兼務の相談支援専門員との情報共有、支援に対する相談がすぐにできないこと等の課題があった。

地域移行支援は、精神科病院でのコロナ感染や緊急事態宣言・まん延防止等重点措置の影響から精神科病院の地域移行がストップになった時期もあり、利用者にとって、退院のための宿泊体験や日中活動の体験が思うように進まない厳しい状況があった。

地域定着支援は、退院した方や一人暮らしの人が安定した地域生活を継続していかれるよう支援を行った。実人数９人の支援を行った。

３　自立生活援助事業

新規事業として、５月より本格的に実施した。地域移行で単身アパート生活を始めた人、家族の入院により生活面に困難が生じた人等の生活不安解消や問題解決を相談支援専門員と連携して行うことができた。実人数11人。

４　長野市受託事業

(1) 長野市障害者相談支援事業・南部障害者相談支援センター
長野市川中島町今井1387-5　ハーモニー桃の郷３階　　TEL：026-274-5871
開設時間：８：30～17：15（月～金）

① 総括

2021年度は、長野市に北部障害者相談支援センターがもんぜんプラザ内に設置されたため、南北長野市障害者相談支援センターの連絡会を月１回、定期的に開催し、新規相談支援や日頃の活動の情報交換、課題を共有し連携を図った。また、関係機関や事業所との連絡調整、相談支援専門員のバックアップ、個別相談をセンター相談員が共有しながら活動した。

② 活動実績

2021年度相談件数実績

1　相談件数

絆の会相談室

(1)相談した障害者等の人数

（実人数）

項目	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
身体障害	障害者	4	11	6	6	4	2	2	1	2	1	3	4	46
	障害児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4	5
	計	4	11	6	6	4	2	2	1	2	1	4	8	51
重症心身障害	障害者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	障害児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
知的障害	障害者	13	16	13	25	13	12	24	18	18	14	10	19	195
	障害児	0	0	2	0	0	0	0	0	13	0	0	0	15
	計	13	16	15	25	13	12	24	18	31	14	10	19	210
精神障害	障害者	89	80	103	87	87	76	90	73	79	65	57	87	973
	障害児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	89	80	103	87	87	76	90	73	79	65	57	87	973
発達障害	障害者	6	2	1	1	3	5	6	2	6	6	5	4	47
	障害児	0	0	0	4	0	0	0	3	3	0	0	0	10
	計	6	2	1	5	3	5	6	5	9	6	5	4	57
高次脳機能障害	障害者	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	障害児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
その他	障害者	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2
	障害児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2
合計	障害者	112	109	124	119	107	97	122	94	105	86	75	114	1,264
	障害児	0	0	2	4	0	0	0	3	16	0	1	4	30
	合計	112	109	126	123	107	97	122	97	121	86	76	118	1,294

(2)支援方法

（延件数）

訪問	8	11	10	5	9	8	16	14	6	3	4	5	99
来所相談	2	2	2	6	2	8	8	6	7	5	5	7	60
同行	0	3	3	3	3	2	4	2	3	1	0	4	28
電話相談	174	137	167	131	129	124	152	125	140	94	96	136	1,605
電子メール	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	2
個別支援会議	3	6	9	14	6	9	12	7	10	3	2	3	84
関係機関	20	38	33	28	39	24	7	9	4	0	0	7	209
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	207	197	224	187	188	176	199	163	170	106	107	163	2,087

(3)支援内容

（延件数）

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
福祉サービスの利用等	136	103	114	101	98	97	140	105	105	85	94	116	1,294
障害や症状の理解	25	42	55	44	48	39	50	57	39	32	14	41	486
健康・医療	21	19	29	27	19	22	21	36	20	21	9	30	274
不安の解消・情緒安定	14	17	15	18	13	10	12	15	6	4	2	18	144
保育・教育	10	12	9	11	14	5	7	4	8	2	1	5	88
家族・人間関係	13	14	23	10	12	6	12	11	9	4	2	0	116
家計・経済	11	13	23	16	13	10	12	8	16	5	1	1	129
生活技術	8	5	14	10	9	8	11	6	15	4	2	1	93
就労関係	4	8	4	10	7	6	4	4	14	0	0	1	62
社会参加・余暇活動	3	4	0	4	3	4	3	3	8	0	0	2	34
権利擁護	2	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	5
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	247	237	286	251	237	208	272	249	241	157	125	215	2,725

(4)相談者別件数

（延件数）

相談者別	本人	36	51	47	35	32	30	46	34	43	16	19	31	420
	家族	8	7	13	13	14	17	5	6	17	7	9	14	130
	その他	162	132	156	139	139	118	152	117	102	90	75	116	1,498
合計		206	190	216	187	185	165	203	157	162	113	103	161	2,048

(5)障害別件数

（延件数）

障害別	身体障害	13	22	15	14	7	3	5	2	4	2	11	5	103
	知的障害	26	23	29	46	27	31	57	29	49	11	8	28	364
	精神障害	160	149	176	123	145	131	126	127	103	86	80	123	1,529
	発達障害	8	3	2	4	9	7	11	5	14	7	8	7	85
	その他	0	0	2	0	0	4	0	0	0	0	0	0	6
合計		207	197	224	187	188	176	199	163	170	106	107	163	2,087
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	

(2) 長野市障害者地域移行コーディネートセンター

① 総括

2021年度は長野市内、中野市、上田市の精神科病院等から地域移行に関する相談があり、相談支援事業所、市担当課、保健センター、指定一般相談支援事業所と連携を図り、地域移行支援の推進を図った。2022年１月には、緊急事態宣言・まん延防止等重点措置発令期間になり、地域移行支援の相談が中止になるなど厳しい状況があった。

長野市障害ふくしネット「地域でいこう委員会」では、地域移行啓発のため、支援者向けパンフレットの作成を行った。

千曲・坂城、須高地域、北部地区では、定期的に自立支援協議会が開催されZoomや対面で各圏域の取り組み状況、課題について意見交換を行った。病院や圏域への巡回の機会が少なかった。

② 活動実績

協議会又は地域自立支援協議会への参加	24回
圏域及びネットワーク会議への参加	２回
ケア会議への参加	28回
支援者数	41人
退院者数	11人

≪退院者11人の内訳≫

男性	５人	平均年齢36.0歳
女性	６人	平均年齢34.5歳

入院期間	１年未満	３年未満	５年未満	10年未満
人数	7	3	1	0

≪退院先一覧≫

アパート(単身)	グループホーム	宿泊型自立訓練	自宅
3	6	2	0

③ 年間相談件数

訪問	来所	同行	電話	電子メール	個別支援会議	関係機関	その他	計
115	0	41	443	6	28	257	0	890

Ｖ―２　2021年度　相談支援事業　その他事業報告

１　関連諸会議等への出席

会議等項目	場所	回数
ケアマネ連絡会※	ハーモニー桃の郷	12
長野市南部・北部障害者相談支援センター連絡会	Zoomで実施	10
指定相談支援事業所連絡会(執行部含む)	長野市役所（Zoom）	2
当事者部会(執行部含む)	ハーモニー桃の郷	6
かつどう部会（執行部含む）	森と木（Zoom）	3
ふくしネット全体協議会	長野市生涯学習センター（Zoom）	2
当事者あり方検討会	長野市役所	1
長野県機能強化会議	Zoom	4
長野市南部障害者相談支援センター会議	ハーモニー桃の郷	34
地域でいこう委員会（執行部も含む）	Zoom	21
長野市全体協議会	長野市生涯学習センター	1
千曲・坂城こころの支援部会	Zoom	6
須高地域自立支援協議会地域生活支援部会	Zoom	8
北部地区自立支援協議会研修会	信濃町役場	1
重層的支援体制整備事業に関する市町村説明会	Zoom	1
南部障害者相談支援センターと南部ブロック包括支援センターの情報交換会	Zoom	1
令和３年松代地区福祉大会	松代文化ホール	1
精神障がい者地域生活支援コーディネーター等連絡会	Zoom	1
精神障害者の退院支援・地域生活支援連絡会	Zoom	1

２　職員が参加した研修

日付	研修名	主催	会場	人数
４月15日	長野市ケアプランナー・相談支援専門員だれでも研修会	長野市障害ふくしネット	Zoom	3
６月18日	災害から利用者様の命を守るために専門職にできること	川中島町住民自治協議会	川中島町公民館	2
７月29日	令和３年度苦情対応実践講座	長野県福祉サービス運営適正化委員会	Zoom	1
10月15日	CRAFTを応用した家族支援研修	絆の会家族会	Zoom	2
10月18、25日	地域移行・地域定着研修会	長野市	Zoom	1
11月10日～12月10日	令和３年度長野県相談支援従事者主任研修	長野県相談支援専門員協会	Zoom	1
11月30日 ２月15日	共同創造の精神科医療改革ベルギーのプロセスに学ぶ	共同創造の精神保健福祉をすすめる会	Zoom	3

12月１日	令和３年度精神障がい者地域移行推進研修会	長野県精神保健福祉センター	Zoom	1
12月２日	相談支援従事者現任研修	長野県相談支援専門員協会	Ｅラーニング、Zoom	2
１月６日	令和３年度災害時こころのケア・ＰＦＡオンライン研修会	長野県精神保健福祉センター	Zoom	2
１月12日	災害からご利用者の命を守るために専門職にできること ～個別支援計画の作成と地域連携～	川中島町住民自治協議会社会福祉部会 地域包括支援センター星のさと 長野市南部障害者相談支援センター	川中島町公民館多目的ホール	1
２月10日	ひきこもり支援	長野市ふくしネットかつどう部会	Zoom	1
３月24日	みんなねっと北信越ブロック家族会	みんなねっと	Zoom	1